

# 令和5年度東京都立立川学園学校経営報告

都立立川学園  
校長 市川 裕二

## I 令和5年度の取組目標に関する自己評価

1 聴覚障害・知的障害教育部門の両部門の特性を踏まえつつ、学校全体の統一感の醸成  
両部門合同の始業式や終業式、全校朝会や全校集会を開催するとともに、学校全体の行事である立川祭を実施し、学校全体の取り組みを推進した。

### 2 幼児・児童・生徒の人権を尊重した教育の充実

いじめに関するアンケートにおいても、いじめと考えられる事例が無かったことは、良いことであった。今後も、人権尊重の教育を推進する。

### 3 幼児・児童・生徒が安全に学校生活を送ることができる環境の確保

危機管理計画の確認・修正（災害・不審者など）と計画に基づく訓練の実施しや、医療的ケアの安全な実施体制、アレルギー対応などの安全な給食の提供ができた。今後も、幼児・児童・生徒が安全に学校生活を送れるような体制整備の充実が必要。

### 4 改訂された学習指導要領の趣旨に基づく授業改善と幼児・児童・生徒の豊かな学習保障の充実

指導部研究指定：複数の障害教育部門を併置する学校の特色を活かした教育活動の展開の実施（両部門の知的障害のある児童生徒の教育課程の連携の検討）を踏まえ、両部門の知的障害のある児童・生徒のための教育課程の研究に取り組んだ。令和5年度は、知的障害教育部門の生活科、社会科、理科の授業を全体で見合う活動を通して、両部門の理解も深まった。合わせて、ICT 機器・一人一台端末を活用した授業の推進を行った。「立川学習ルール」（幼児・児童・生徒向け）「立川学園の授業」（教員向け）を策定した。

### 5 授業づくりを支える教員の学びの充実

一人一コマ研究授業・年次研究授業・初任者研究授業や、全校研修会を実施し、一人一人の教員の授業力向上を図った。

### 6 幼児・児童・生徒の自立と社会参加を促進するキャリア教育の推進

新たにキャリアパスポートの作成を開始し、小学部から高等部まで系統性のあるキャリア教育を推進する。

### 7 健康で豊かな心と体を育てる教育の推進

東京都のがん教育を推進するための啓発ビデオの作成に協力した。様々なコンテストに応募し、優秀な成績をおさめることができた。

### 8 地域とのつながりを深め、地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮と強化

乳幼児教育相談等を実施し、聴覚障害のある幼児・児童・生徒の支援を図った。両部門

それぞれに、地域の小中学校と交流及び共同学習を実施する学校間交流校を指定し、障害のない児童生徒との交流活動を促進した。

9 ポストコロナを踏まえ、平常の教育活動の提供

新型コロナウイルスも2類相当から5類になったことを踏まえ、平常の教育活動の実施を図った。

10 適切な学校運営体制の構築

電子決算の実施とICT機器を活用したペーパーレス化の促進を図った。

重点目標と方策(数値目標)・結果

項目	内容	数値目標	結果
1 聴覚障害・知的障害教育部門の両部門の特性を踏まえつつ、学校全体の統一感の醸成	管理職・主幹教諭による学校全体の方向性について検討する「経営会議」の開催	月1回の開催	8回実施（夏季休業中及び特段の課題がない月は実施せず）
2 幼児・児童・生徒の人権を尊重した教育の充実	人権教育に関する研修会の実施	年間3回開催	3回実施
	児童・生徒アンケート及び聞き取り調査によるいじめの実態把握	年1回以上	1回実施
	学校評価アンケート「楽しい学校」の高評価	保護者：90%以上 児童生徒：90%以上	94% 94%
3 幼児・児童・生徒が安全に学校生活を送ることができる環境の確保	避難訓練等（危機回避訓練）の実施と企画調整会議による反省・検討	月1回以上	避難訓練11回実施（夏季休業中は除く）企画調整会議などで検討
	アレルギー対応研修会	各学部1回	各学部1回実施
	医療的ケア対応研修会	年間1回	1回実施
	緊急対応訓練	年間1回	1回実施
	学校評価アンケート「防犯・防災・安全指導の適切な実施」の高評価	保護者：90%以上	95%
4 改訂された学習指導要領の趣旨に基づく授業改善と幼児・児童・生徒の豊かな学習保障の充実	校内研究会の実施	学期3回以上	9回実施
	学校評価アンケート「わかりやすい授業」の高評価	保護者：90%以上	88%
		児童生徒：90%以上	95%

5 授業づくりを支える教員の学びの充実	一人一コマ授業の実施	100%	100%
	両教育部門をまたがる授業研究の実施	年間1回以上	3回実施
6 幼児・児童・生徒の自立と社会参加を促進するキャリア教育の推進	全ての幼児・児童・生徒に「キャリアパスポート」の作成	100%	100%
	学校評価アンケート「社会参加を見通した進路指導」	保護者：75%以上	80%
		児童生徒：90%以上	94%
各種検定の実施	年間3種以上	3種以上多数	
7 健康で豊かな心と体を育てる教育の推進	スポーツ大会への参加	3大会以上	3大会以上多数
	全国特別支援学校文化連携文化祭や東京アートプロジェクト等への作品出展	8作品以上	8作品以上
	がん教育の実施	年間1回以上	1回実施
8 地域とのつながりを深め、地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮と強化	ホームページの更新	年間24回以上	90回
	摂食指導、アレルギーに関する研修会の実施	年3回以上	3回実施
	医療的ケア及び重度・重複障害のある児童生徒に関する研修会	年3回以上	3回実施
	ヒヤリハット事例を活用した事故防止研修会の開催	年2回以上	2回実施
9 ポストコロナを踏まえ、平常の教育活動の提供	年間指導計画の完全実施	100%	100%
10 適切な学校運営体制の構築	本校既定のクリーンデスク達成率の向上	100%	100%
	自律経営推進予算センターの高執行率の維持	50%以上	81.1%

## II 今後の課題・方向

### 1 幼児・児童・生徒の人権を尊重した教育の充実

- ①体罰の撲滅、人格を否定する乱暴な言動、追い込む指導等の不適切な指導の徹底的な排除（呼び捨て等の禁止、さん付けでの呼名の徹底）
- ②いじめの早期発見、早期対応の徹底（いじめ防止基本計画に基づく指導の徹底）
- ③幼児・児童・生徒の自己肯定感を育む教育の推進
- ④聴覚障害教育部門：スクールカウンセラー、SSWの計画的な活用による児童生徒のメ

## ンタルケアの推進

### 2 幼児・児童・生徒が安全に学校生活を送ることができる環境の確保

- ①危機管理計画の確認・修正（火災・地震・災害・不審者など）と計画に基づく訓練の実施（トランシーバーや学校携帯の円滑な活用を通し、学校全体の連携の徹底）
- ②学校携帯や保護者連絡システム(Classi 東京都版)を活用した、学校と保護者との確実な連絡の実施
- ③幼児・児童・生徒の緊急対応計画の確認・修正（行方不明・アレルギー・事故・医療的ケアに関する対応）と計画に基づく訓練の実施
- ④安全な医療的ケア実施に向けた校内体制の構築
- ⑤安全な給食の提供できる体制（食堂の使用、配膳、アレルギー対応・形態食）の充実
- ⑥スクールバス増車に関わる安全な運行と緊急対応計画の確認・修正。スクールバス保護者会や事業所別保護者会、放課後デイサービス事業所連絡会を通じた連携の充実

### 3 幼児・児童・生徒の一人一人の特性や課題に応じた学習の推進

- ①外部専門家からのアドバイスを活用した個に応じた指導の充実（PT、OT、教材アドバイザーの学校全体の活用、知的部門・聴覚部門（両部門の知的障害の教育課程）の児童・生徒への活用）
- ②個別指導計画や学校生活支援シートを通して保護者と連携した指導の充実及び学部間の系統性の確保に向けた引継ぎ会等の時間の確保
- ③手話を含む多様なコミュニケーション手段を活用したコミュニケーションマインドの醸成
- ④障害特性を踏まえた指導方法の工夫の推進（聴覚障害教育部門：デジタル集団補聴システムの活用、知的障害教育部門：構造化の活用、視覚支援の活用の充実）

### 4 学習指導要領の趣旨に基づく授業改善と幼児・児童・生徒の豊かな学習保障の充実

- ①教科部会の活性化と教科学習の充実
- ②教育課程の改善（聴覚障害の特性を配慮した年間指導計画の修正。知的障害の特性を配慮した年間単元一覧の作成）
- ③一人一授業や年次研などの授業研究の実施による授業力の向上
- ④学校全体で取り組む研修・研究活動の充実（両部門の知的障害の教育課程の授業を見あうことで両部門が知り合う。一人一台端末の活用（ロイロノートの学校全体への導入）
- ⑤学校図書館を活用した読書活動の充実（聴覚・知的）（図書貸し出しシステムの活用など、読書活動の充実に向けた具体的な取組の推進）

### 5 幼児・児童・生徒の自立と社会参加を促進するキャリア教育の推進

- ①幼児・児童・生徒が希望する進路の実現に向けた取り組みの推進
- ②知識・技能の向上と定着及び各種検定の実施
- ③進路に関わる体験等の実施

④内部進学に向けた学部間の連携の充実

⑤キャリアパスポートの作成を通して小学部から高等部までを連なるキャリア教育の構築（実施の積み上げ）

その他

○健康で豊かな心と体を育てる教育の推進

・部活動促進をし、運動、スポーツに親しむ幼児・児童・生徒の育成、文化芸術活動の充実（東京都アートプロジェクトや全国特別支援学校文化祭等への応募の充実）

○地域とのつながりを深め、地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮と強化（学校ホームページの充実）

・乳幼児教育相談における地域ネットワークの構築として地域の小・中・高等学校との交流及び協同学習の充実と副籍制度を活用した居住地校との交流及び協同学習の充実